

## 株式のご案内

事業年度 4月1日から翌年3月31日  
 期末配当金 毎年3月31日  
 受領株主確定日  
 中間配当金 毎年9月30日  
 受領株主確定日  
 定時株主総会 毎年6月  
 公告方法 電子公告の方法により行います。  
 公告掲載URL (http://www.presskogyo.co.jp)

ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 特別口座の口座管理機関  
 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号  
 TEL: 0120-232-711 (通話料無料)

上場取引所 東京証券取引所第一部  
 証券コード 7246  
 単元株式数 1,000株

### 【株式に関するお手続きについて】

#### ● 特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
・特別口座から一般口座への振替請求 ・単元未満株式の買取(買増)請求 ・住所・氏名等のご変更 ・特別口座の残高照会 ・配当金の受領方法の指定※	特別口座の 口座管理 機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL: 0120-232-711 (通話料無料) 【手続書類のご請求方法】 ・音声自動応答電話によるご請求 TEL: 0120-244-479 (通話料無料) ・インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/
・郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ・支払期間経過後の配当金に関するご照会 ・株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿 管理人	

※特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

#### ● 証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
・郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ・支払期間経過後の配当金に関するご照会 ・株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿 管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL: 0120-232-711 (通話料無料)
・上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等	お問合せください。

## ホームページリニューアルのご案内

当社は平成25年6月に自社ホームページを全面的にリニューアルいたしました。IR情報・製品情報などの充実に加え、デザイン・コンテンツを大幅にグレードアップいたしました。当社をよりご理解いただくためにも、是非ご覧下さい。

プレス工業

検索

<http://www.presskogyo.co.jp>



## 株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<http://www.e-kabunushi.com>  
 アクセスコード 7246

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入) アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から  
 抽選で薄謝(図書カード500円)  
 を進呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(イー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2mediaについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ TEL: 03-5777-3900 (平日 10:00~17:30)  
 「e-株主リサーチ事務局」 MAIL: info@e-kabunushi.com

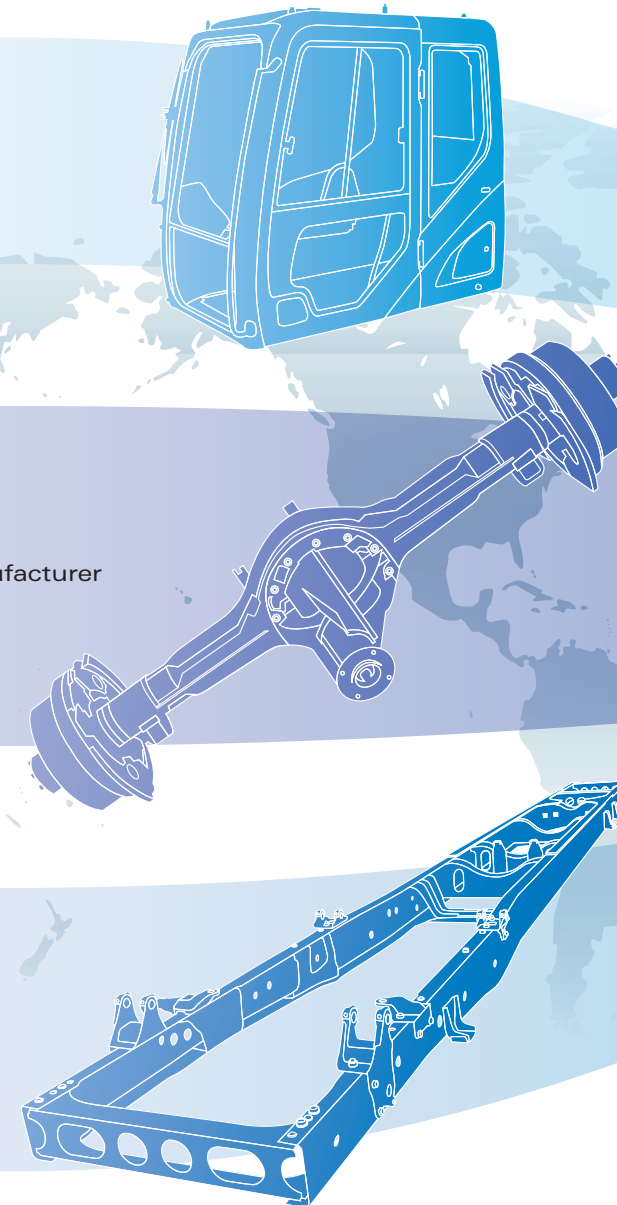
# PRESS KOGYO

## 株主通信

第113期 中間報告書

平成26年4月1日から平成26年9月30日まで

Pursuing Further Growth as a Global Specialty Manufacturer



## PRESS プレス工業株式会社

〒210-8512 川崎市川崎区塩浜一丁目1番1号  
 TEL: 044-266-2581 (代表) FAX: 044-276-3934  
<http://www.presskogyo.co.jp>

PRESS プレス工業株式会社



株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、当社第113期第2四半期(平成26年4月1日から平成26年9月30日まで)の業績につきましてご報告させていただきます。

代表取締役社長

角堂 博茂

## 当第2四半期の業績の概況

当第2四半期連結累計期間における当社グループの国内事業環境は、以下の通りであります。

自動車関連事業につきましては、普通トラックの国内需要は、公共工事の活発化等により前年同期比6千台増の39千台となりました。輸出は、前年同期に比べ減少しました。また、小型トラックの国内需要は、44千台と前年同期に比べ4千台増加しました。

建設機械関連事業につきましては、油圧ショベルの国内向け需要は、排ガス規制前駆け込み需要の反動減

により前年同期に比べ減少しましたが、輸出向けは増加しました。

海外の事業環境は、次の通りであります。

タイ：政情不安による需要の減退により、1tピックアップトラック需要は前年同期に比べ減少しました。

米国：緩やかな景気上昇により新車販売が好調であり、市場全体の自動車販売台数は前年同期に比べ増加しました。

中国：建設機械需要は第1四半期は前年同期に比べ増加しましたが、第2四半期以降需要が減速し、前年同期に比べ減少しました。

インドネシア：資源価格の下落やルピア安等の影響により建設機械需要は依然低迷しております。

欧州：自動車需要が堅調に推移し、前年同期に比べ増加しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は914億17百万円（前年同期比1.2%増）となり、営業利益は42億71百万円（前年同期比8.7%減）、経常利益は40億88百万円（前年同期比18.5%減）、四半期純利益は25億31百万円（前年同期比24.2%減）となりました。

## セグメント別の業績

(自動車関連事業)

当社グループの国内生産は、経済対策や復興需要の継続等により堅調に推移し、普通トラック・小型トラック用部品は共に前年同期に比べ増加しました。普通トラックの輸出は、完成車が好調でしたが、ノックダウンの大幅な減少により、前年同期に比べ減少しました。小型トラックの輸出は、第1四半期に引き続き新興国・資源国向けが好調に推移し前年同期に比べ増加しました。

海外子会社の状況は、次の通りであります。

タイ：1tピックアップトラック需要の減少が継続しており、TSPKKグループの売上高及び利益

は前年同期に比べ減少しました。生産量に応じた要員配置等の諸施策を実施し、生産効率化と費用低減を進めております。

また、新規モデルの立ち上げ準備を計画通り進めております。

米国：ピックアップトラックやSUVの好調な需要に支えられ、PK U.S.A.,INC.の売上高は前年同期に比べ増加しました。また、新規受注部品の立ち上げ準備を進めております。

インドネシア：中・小型トラック用フレームの生産は当初計画を下回りました。

欧州：新規受注部品の生産が堅調に推移した結果、PRESS KOGYO SWEDEN ABの売上高は前年同期に比べ増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は765億74百万円（前年同期比3.0%減）となり、セグメント利益は52億83百万円（前年同期比10.4%減）となりました。

(建設機械関連事業)

当社グループの国内向け生産は、ROPSキャビンの生産台数が増加しました。輸出は、米国・欧州向けが堅調に推移し、当社尾道工場の生産は前年同期に比べ増加しました。また、当社子会社協和製作所においては、ホイールローダー用キャビンの新規受注等により、生産が前年同期に比べ大幅に増加しました。

海外子会社の状況は、次の通りであります。

中国：全体需要は前年同期に比べ減少しましたが、蘇州普美駕駛室有限公司 (PM CABIN MANUFACTURING CO.,LTD.) の生産は微増となり、普萊斯工業小型駕駛室(蘇州)有限公司(PRESS KOGYO MINI CABIN(SUZHOU) CO.,LTD.) の生産は、ミニショベル用キャビンを順調に立ち上げております。

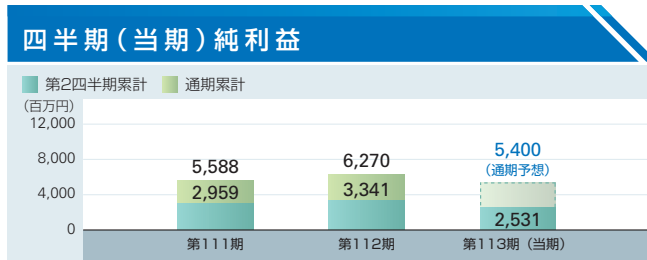
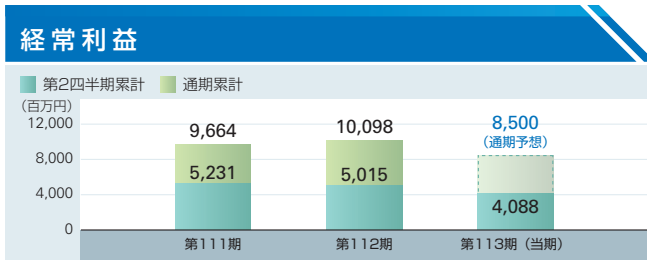
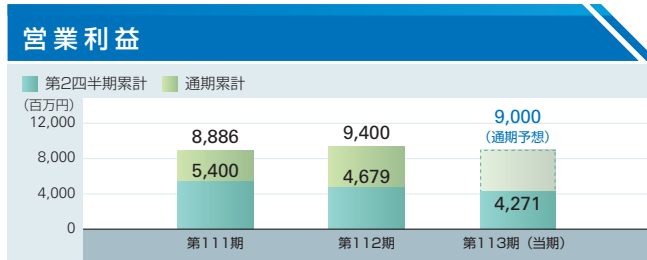
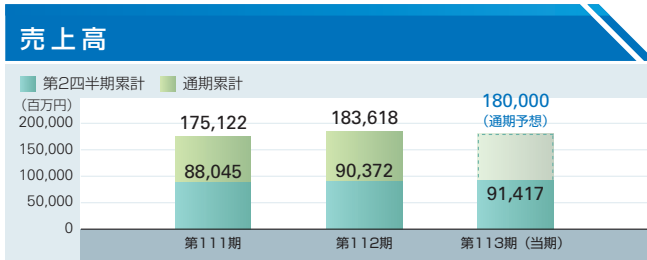
インドネシア：依然として鉱山機械需要が低迷しており、PT.PK Manufacturing Indonesiaの生産は当初計画を下回りました。

以上の結果、当セグメントの売上高は154億24百万円(前年同期比22.6%増)、セグメント利益は5億90百万円(前年同期比27.9%増)となりました。

尚、当第2四半期末の配当金につきましては、当初予想通り1株あたり5円をお支払いさせて頂き、期末配当金につきましても1株あたり5円の予想とさせて頂いております。

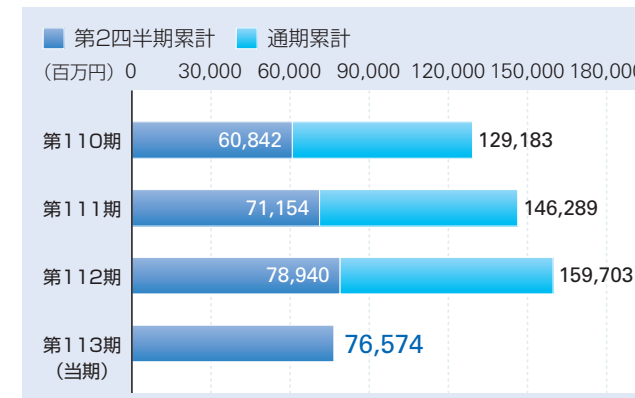
当社グループは引き続き、専門メーカーとしての開発力・技術力・ものづくりの強みを結集し、成長戦略を推進してまいりますので、株主の皆様のご理解・ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

## 連結業績

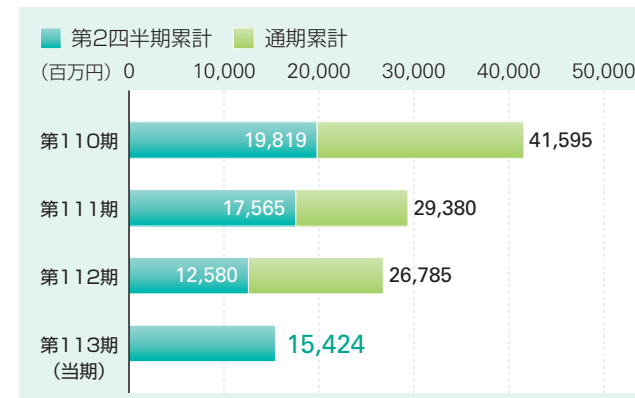


※業績予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性がありますのでご承知おきください。

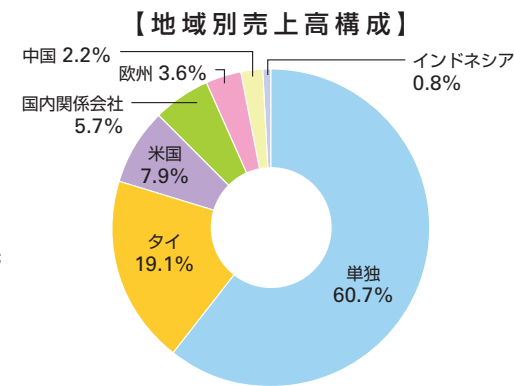
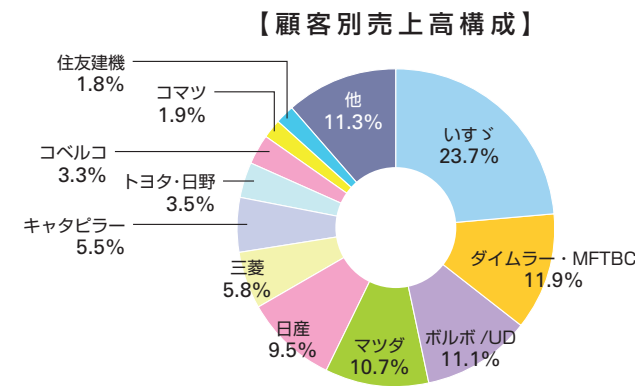
## 自動車関連事業



## 建設機械関連事業



## 平成27年3月期第2四半期



## 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	期別 第113期 (第2四半期) 平成26年 9月30日現在	第112期 (第2四半期) 平成26年 3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	62,960	59,706
固定資産	90,719	91,127
有形固定資産	80,155	80,663
無形固定資産	1,168	1,344
投資その他の資産	9,396	9,118
<b>資産合計</b>	<b>153,679</b>	<b>150,833</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	58,051	53,749
固定負債	29,620	31,791
<b>負債合計</b>	<b>87,672</b>	<b>85,540</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	43,683	42,794
資本金	8,070	8,070
資本剰余金	2,075	2,074
利益剰余金	34,732	33,842
自己株式	△1,194	△1,192
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>18,332</b>	<b>17,822</b>
その他有価証券評価差額金	2,568	1,325
土地再評価差額金	16,013	16,013
為替換算調整勘定	504	1,363
退職給付に係る調整累計額	△754	△879
<b>少数株主持分</b>	<b>3,991</b>	<b>4,676</b>
<b>純資産合計</b>	<b>66,007</b>	<b>65,293</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>153,679</b>	<b>150,833</b>

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別 第113期 (第2四半期) 自平成26年4月1日 至平成26年9月30日	第112期 (第2四半期) 自平成25年4月1日 至平成25年9月30日
売上高	91,417	90,372
売上原価	81,254	79,581
売上総利益	10,162	10,790
販売費及び一般管理費	5,891	6,111
営業利益	4,271	4,679
営業外収益	158	563
営業外費用	341	227
経常利益	4,088	5,015
特別利益	7	449
特別損失	7	48
税金等調整前四半期純利益	4,087	5,416
法人税等	2,037	2,011
少数株主損益調整前四半期純利益	2,050	3,405
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△480	63
<b>四半期純利益</b>	<b>2,531</b>	<b>3,341</b>

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	期別 第113期 (第2四半期) 自平成26年4月1日 至平成26年9月30日	第112期 (第2四半期) 自平成25年4月1日 至平成25年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	77	7,086
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,610	△8,866
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,267	△791
現金及び現金同等物に係る換算差額	△60	695
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,327	△1,876
現金及び現金同等物の期首残高	12,153	11,840
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,826	9,963

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

Topics

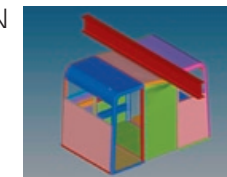
1

## 危機管理産業展2014に新製品(防災シェルター)を出展いたしました

10月15~17日、東京ビッグサイトにて行われた「危機管理産業展(RISCON TOKYO) 2014」に、当社の新製品「防災シェルター」を参考出展いたしました。



レストエリアモデル	
構造	異形鋼管スペースフレーム
材質	熱間圧延鋼板
仕上	電着カチオン塗装+メラミン塗装
広さ	5.5㎡
収容人数	24人(避難時最大人数)
全長	3,145mm
全幅	2,024mm
全高	2,181mm
重量	780kg
上方荷重	200t
カラー	ホワイト



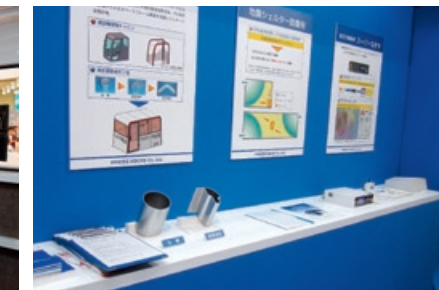
本製品は、当社新規事業のひとつとして、『地震から命を守る安全技術』をコンセプトに開発いたしました。用途としては、地震発生時の屋内(工場、倉庫、ホール等)において、落下物から身を守ることができる避難場所としての利用を想定しております。

当社のコア商品である建設機械用キャビンで培った異形鋼管技術を応用したことにより、200t(※1)の荷重に耐え、10mの高さから300kgのH形鋼が落下(※2)しても生存空間が確保できる高強度の構造を実現しております。また、地震時の避難場所以外に、普段は工場等のレストエリア(休憩所)としても利用可能であり、地震以外の用途として様々な災害に対応するシェルターの開発検討も進めております。

2015年4月予定の発売に向け、本製品のさらなる改良を進めると共に、今後も新たな事業領域の開拓をおこなってまいります。

※1 上方静荷重の値

※2 H鋼がシミュレーション画像のように異形鋼管上に落下した場合



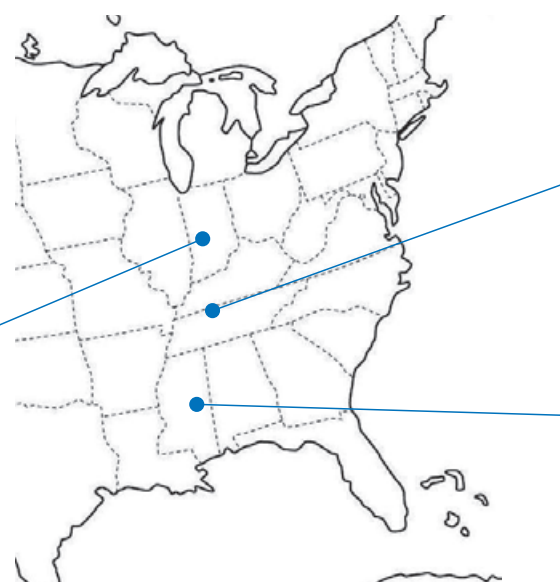
Topics  
2

## PK U.S.A. INC.にて米系自動車メーカー向けアクスル部品の生産を開始いたしました

本年6月より、当社米国子会社PK U.S.A.INC.Indiana工場にて、新規に受注した米系自動車メーカー向けアクスル部品の量産を開始いたしました。また、新たに日系自動車メーカー向けのドア補強部品を新規に受注し、生産準備を開始しております。米国の自動車販売はピックアップ・SUVを中心に好調であり、今後もグループ丸となって商権の拡大に努めてまいります。



**PK U.S.A. INC.**  
会社名：PK U.S.A. INC.,  
所在地：  
・インディアナ州  
(本社・インディアナ工場)  
・テネシー州 (テネシー工場)  
・ミシシッピ州 (ミシシッピ工場)  
設立年：1988年7月  
事業内容：自動車部品の製造



Topics  
3

## THAI SUMMIT PK CORPORATION LTD.にプレス機を導入いたしました

タイにおける当社子会社THAI SUMMIT PK CORPORATION LTD.において、当社尾道工場より3,000tプレス機を移管すると共に、新規に500tプレス機を導入いたしました。タイの1tピックアップトラック需要は政情不安や自動車購入支援策の終了により減少しておりますが、当設備の導入等、合理化諸施策を実施し生産の効率化と外注部品の内製化による付加価値向上を進め、収益の改善をはかっております。

また、下期以降に立ち上げを予定しているフレーム・アクスルケースにつきましても、生産準備活動を着実に推進してまいります。



尾道工場より移管した3,000tプレス機



新規購入した500tプレス機

会社名：  
THAI SUMMIT PK CORPORATION LTD.  
  
所在地：タイ国ラヨーン県  
設立年：2008年11月  
事業内容：自動車部品の製造



Topics  
4

## 陸上競技部がニューイヤー駅伝に出場します(6年連続6回目)

11月3日(月)に埼玉県にて行われた東日本実業団駅伝に当社陸上部が出場いたしました。

結果は6位入賞と、過去最高であった昨年の成績(9位)を上回り、見事元旦のニューイヤー駅伝の出場権を獲得いたしました。

今回で初出場より6年連続6回目の出場となり、選手・スタッフ丸となってより一層努力してまいりますので、引き続き株主の皆様の温かいご声援をよろしくお願い申し上げます。

2015年1月1日(木) 9時15分スタート



# GROUP NETWORK

[ グループネットワーク ]



# CORPORATE DATA / STOCK INFORMATION

[ 会社データ / 株式の状況 ]

## 会社概要 (平成26年9月30日現在)

商号 プレス工業株式会社  
 PRESS KOGYO CO., LTD.  
 本店所在地 〒210-8512  
 川崎市川崎区塩浜一丁目1番1号  
 TEL 044-266-2581 (代表)  
 事業所所在地 川崎工場 (川崎市川崎区)  
 横浜事務所 (横浜市西区)  
 宇都宮工場 (栃木県下野市)  
 埼玉工場 (埼玉県川越市)  
 藤沢工場 (神奈川県藤沢市)  
 尾道工場 (広島県尾道市)  
 創立 大正14年2月16日  
 資本金 8,070,221,336円  
 従業員数 1,953名 (連結従業員数 6,171名)

## 主要な子会社 (平成26年9月30日現在)

株式会社協和製作所  
 尾道プレス工業株式会社  
 鋳金工業株式会社  
 PK U.S.A.,INC.  
 PRESS KOGYO SWEDEN AB  
 THAI SUMMIT PKK CO.,LTD.  
 THAI SUMMIT PKK BANGPAKONG CO.,LTD.  
 THAI SUMMIT PK CORPORATION LTD.  
 蘇州普美駕駛室有限公司  
 普萊斯冲圧部件(蘇州)有限公司  
 普萊斯工業小型駕駛室(蘇州)有限公司  
 PT.PK Manufacturing Indonesia (他15社)

## 役員 (平成26年9月30日現在)

代表取締役社長 角堂 博茂  
 取締役副社長 高橋 正美  
 取締役副社長 齊藤 正人  
 取締役常務執行役員 池田 裕彦  
 取締役常務執行役員 美野 哲司  
 取締役常務執行役員 村山 哲  
 取締役(社外取締役) 原田 忠禮  
 常務執行役員 中村 茂夫  
 監査役(社外監査役) 竹内 淳  
 監査役(社外監査役) 市東 康男  
 監査役 河野 誠  
 常務執行役員 尾浪 和彦  
 常務執行役員 行川 満夫  
 常務執行役員 遠藤 徳明  
 常務執行役員 瀬上 和利  
 常務執行役員 石丸 隆夫  
 常務執行役員 中山 隆史  
 上席執行役員 馬林 栄司  
 上席執行役員 廣瀬 俊範  
 執行役員 矢原 洋  
 執行役員 二村 幸一  
 執行役員 内田 正巳  
 執行役員 中山 雅一  
 フェロー・パートナー 中村 茂夫

## 株式の状況 (平成26年9月30日現在)

発行可能株式総数 240,000,000 株  
 発行済株式の総数 114,007,210 株  
 株主数 8,363 名

## 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
いすゞ自動車株式会社	10,151	9.34
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,103	5.62
ジェービー・モルガン・チェース・バンク 385632	5,934	5.46
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE NV101	5,400	4.97
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,177	4.77
みずほ証券株式会社	3,977	3.66
プレス工業従業員持株会	2,284	2.10
プレス工業取引先持株会	2,131	1.96
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	2,128	1.96
クレディ・スイス・セキュリティーズ(ヨーロッパ)リミテッド ビービー・オムニバス・クライアント・アカウント	1,827	1.68

※1. 上記のほか、当社が保有している自己株式が、5,373,313株あります。  
 ※2. 持株比率は自己株式保有総数を控除して計算しております。

